

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 5月24日更新

事務事業名		プール監視安全管理体制助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木 洋治
	施策	20	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	飯開輝久雄
	基本事業	61	徳育の推進			所属班	学務指導班	(内線)	2226
予算科目	会計一般	款10	項1	目3	事業連番10637	法令根拠	合志市立小学校PTAプール監視補助金交付要綱		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	小学校の夏休み中に、PTAが実施するプール開放について、利用する児童の安全を確保するため、その安全管理に係る経費の一部を助成し、夏休み期間中のプール利用の促進をはかるため助成をはじめた。状況変化なし。 【事業の内容】PTAが実施する、夏休みの小学校プール開放時に、PTAが行うプール開放時の安全管理業務の経費を助成する。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	補助金申請受付、補助金交付決定事務、補助金支払い事務、実績確認事務
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	PTAからは、プール開放時に子どもたちが安心してプールを使えるようにするために、期間中の安全管理は絶対必要であり今後も万全の体制で臨む必要があるため今後も助成を継続して欲しいとの要望あり 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	7小学校の夏休み期間中のプール開放時に、PTAが実施したプール安全管理業務に要する経費の一部を補助した。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	7小学校の夏休み期間中のプール開放時に、PTAが実施するプール安全管理業務に要する経費の一部を補助する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 日	予算の主な増減の理由	
→ア 夏休み中にプールを開放した延べ日数	日		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	小学校児童	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位) 人
		→ア 小学校児童数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	夏休み中の児童のプール利用の安全をはかる	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位) %
		→ア 事故がなく安全にプール開放ができた割合	%
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠			総トータルコスト全体計画 ~ 年度
事故防止のため			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア	日	132	132	140	129	140	140	140	140	
	イ										
②対象指標	ア	人	3,582	3,700	3,823	3,901	3,947	3,947	3,947	3,947	
	イ										
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	700	652	700	600	700	700	700	700
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	4	2	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	7	34	7	29	34	34	34	34
(B)人件費計	千円	27	140	28	117	140	140	140	140		
トータルコスト(A)+(B)	千円	727	792	728	717	840	840	840	840		

事務事業名	プール監視安全管理体制助成事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 プールの安全管理について万全の体制で臨んでおり今後も継続していく。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 プール利用における安全確保が目的であり、現状で事故なくプール開放が実施されており成果を向上させる余地はない。ただし、現状を維持していくためには事業を継続していく必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の補助金であり削減余地はない
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間であり削減余地はない。個別に委託するような事務量ではない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により特定の個人又は団体が利益を得るものではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各学校PTAが実施している

## 3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

監視員を配置するなどして、児童が安全にプールを利用することができている。
--------------------------------------

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						